



令和7年度霞ヶ浦学講座

「中世の霞ヶ浦」

昨年続く

第2弾



霞ヶ浦は、奈良時代の頃は「流海」と呼ばれるなど、時代とともに名称（呼称）や形がかわってきました。奈良時代に編纂された「常陸国風土記」をはじめとした文献から当時の生活、文化、地理の様子を伺い知ることができます。

それでは、中世（鎌倉時代～室町時代の頃）の霞ヶ浦はどのように描かれていたのでしょうか？古文書などでは「海」「内海」と記されています。また湖畔に津（港）が多数存在していたことも記されています。当時の霞ヶ浦が水上交通の要衝としても機能していた様子を読みとることができます。

今回の講座では、中世の頃の霞ヶ浦について文献や考古資料から紐解いていきます。

日時：令和8年2月8日（日） 13:30～15:00

場所：霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール

講師：比毛君男さん（上高津貝塚ふるさと歴史の広場）

受講料：無料 定員：40名(要事前申し込み、先着順)

送迎バス：土浦駅東口 13:00 発（要申込）



申込方法：以下のいずれかの方法でお申し込みください。

申込方法：①右の QR コードからインターネット申込

URL:https://apply.e-tumo.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=81747

②E-mail ③FAX ④電話

メール、FAX の場合は件名に「中世の霞ヶ浦」と明記の上、氏名、住所、電話番号、送迎バス利用の有無をお知らせください。

（個人情報センターのイベントに係る事務連絡以外に使用しません。）

申込先：茨城県霞ヶ浦環境科学センター（〒300-0023 土浦市沖宿町 1853 番地）

環境活動推進課 担当：小川

TEL:029-828-0962 FAX:029-828-0967 メール：k.suishin@pref.ibaraki.lg.jp